

第10回

フードバンク こども応援全国プロジェクト 活動報告書



一般社団法人
全国フードバンク推進協議会



給食のない長期休みの期間にこそ 子どもたちを支援したい

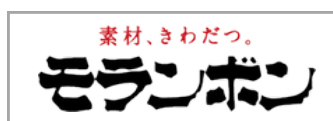
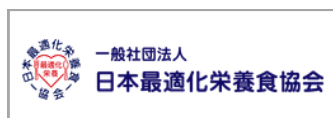
フードバンクこども応援全国プロジェクト

一般社団法人全国フードバンク推進協議会は、2021年から給食のない夏休みや冬休み期間中に「フードバンクこども応援全国プロジェクト」を実施しています。「フードバンクこども応援全国プロジェクト」は、子どものいる困窮世帯への食料支援を全国拡大するために加盟フードバンク団体とともに実施しており、多くの企業・団体・個人の皆様からのご支援により、この度10回目のプロジェクトを実施することができました。

本プロジェクトでは、ご賛同いただいた協力企業の皆様からたくさんの食品をご寄贈いただいたことで、47,120世帯に食品を届けることができました。

本プロジェクトを支えてくださった皆様への感謝を込めて、ご報告させていただきます。

協力企業の皆様（五十音順）



企業の皆様からの温かいご支援により、多くの食品を全国の参加フードバンク団体を通じて、子どもたちや食のサポートを必要とする世帯のもとへ届けることができました。

参加フードバンク団体の皆様（地域順）

第10回フードバンクこども応援全国プロジェクトでは、50の加盟フードバンク団体様にご参加いただきました。全国のフードバンク団体様にご参加いただいたおかげで、本プロジェクトでは過去最大の47,120世帯に食の支援を行うことができました。

- NPO法人フードバンクイコロさっぽろ
- 認定特定非営利活動法人フードバンク岩手
- 一般社団法人フードバンクいしのまき
- 一般社団法人フードバンクあきた
- NPO法人フードバンク茨城
- NPO法人フードバンクあしかが
- NPO法人フードバンクネット西埼玉
- NPO法人フードバンクいるま
- フードバンク川越
- NPO法人フードバンクふなばし
- NPO法人フリースタイル市川
- とうかつ草の根フードバンク
- NPO法人フードバンク調布
- 認定NPO法人フードバンクTAMA
- NPO法人フードバンク八王子えがお
- NPO法人フードバンク狛江
- 認定NPO法人フードバンク湘南
- NPO法人フードバンクにいがた
- NPO法人新潟県フードバンク推進協議会
- フードバンクしばた
- フードバンクながおか
- 認定NPO法人フードバンク山梨
- 認定NPO法人富士の緑とフードサポート
- NPO法人NPOホットライン信州
- NPO法人POPOLO
- NPO法人フードバンク愛知
- 一般社団法人フードバンクびわ湖
- フードバンク滋賀
- フードバンク泉佐野
（NPO法人麒麟こども応援団）
- フードバンク神戸
（NPO法人神戸こども食堂ネットワーク）
- 認定NPO法人セカンドハーベスト京都
- 認定NPO法人フードバンク奈良
- NPO法人フードバンク和歌山
- 順正デリシャスフードキッズクラブ
（学校法人順正学園）
- 認定NPO法人ハーモニーネット未来
- NPO法人フードバンク山口
- フードバンクうわじま
- 一般社団法人 愛媛県 晴活
- 認定NPO法人フードバンク北九州ライフアゲイン
- ふくおか筑紫フードバンク
- NPO法人いるか
- NPO法人フードバンク飯塚
- NPO法人フードバンクさが
- 一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき
（つなぐBANK）
- フードバンクひのくに
（NPO法人ひのくにスマイルプロジェクト）
- 一般社団法人LALASOCIAL
（フードバンクみやざき）
- NPO法人てしおて（フードバンクてしおて）
- NPO法人フードバンクそお
- フードバンク大隅
- NPO法人フードバンク奄美

支援実績

実施時期：2025年12月1日～2026年1月31日
支援対象：子どものいる困窮世帯

支援世帯数
合計
47,120世帯

直接支援
35,824世帯

間接支援
11,296世帯

直接支援世帯数：自団体から支援世帯へのパントリー活動や配送による延べ支援世帯数
間接支援世帯数：パントリー活動等を行う子ども食堂等、他団体へ提供した食品の重量を世帯数に換算

活動の様子

① 企業様からの食品寄贈

今回のプロジェクトでも、たくさんの食品を寄贈していただきました。



NPO法人フードバンクさが



認定NPO法人フードバンク山梨

② 提供する食品の箱詰め

参加フードバンク団体様より子育て世帯に向けて、様々な食品を（メッセージカード等とともに）1世帯ずつ箱に詰めていただきました。



認定NPO法人セカンドハーベスト京都



NPO法人いるか

③ フードバンク団体の活動の様子

参加フードバンク団体のスタッフやボランティアの皆様をはじめ、たくさんの方々にご協力いただきました。



認定NPO法人フードバンク山梨



認定NPO法人フードバンク岩手



認定NPO法人フードバンク
北九州ライフアゲイン



認定NPO法人フードバンク奈良

④ 食品のお渡し

箱詰めした食品を子育て世帯へ直接配送する他、各地のフードバンクや子ども食堂等を通じて、食料支援を実施しました。



一般社団法人愛媛県晴活



ふくおか筑紫フードバンク



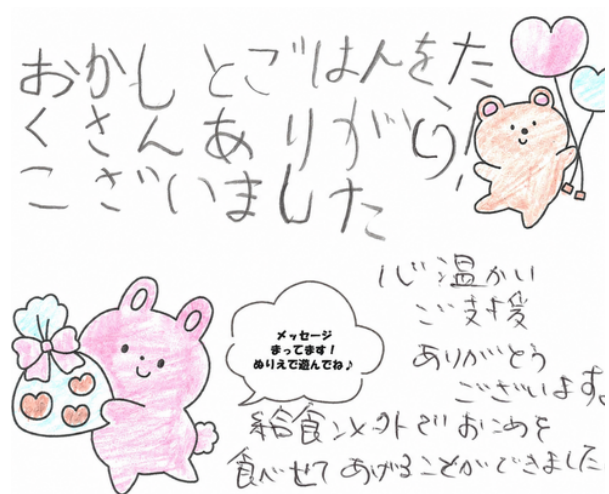
NPO法人フードバンクそお



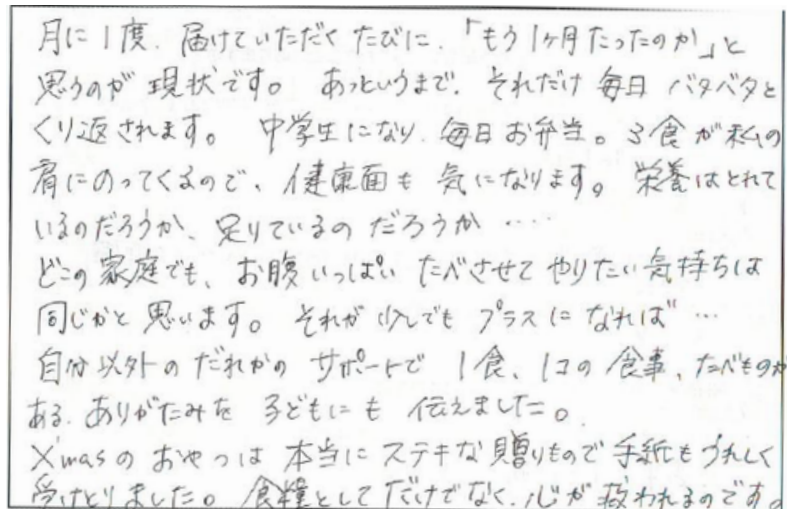
フードバンクひのくに
(NPO法人ひのくにスマイルプロジェクト)

⑤ 利用者さまからの声

利用者の方々から感謝のメッセージをいただきました。



NPO法人POPOLO
の受益者から



順正デリシャスフードキッズクラブ
の受益者から



認定NPO法人フードバンク湘南の受益者から

参加団体様への インタビュー 1

プロジェクトに参加されたフードバンク団体へ、インターン生と共に弊会よりインタビューを実施しました。

<フードバンク神戸 (NPO法人神戸こども食堂ネットワーク)> 理事長 小野田様

Q：普段の活動内容について教えてください。

私たちの活動の原点は、2016年7月に神戸市北区で立ち上げた「みんなのごはん」という子ども食堂です。大きな転機となったのが、2020年の新型コロナウイルス感染の拡大です。子ども食堂として今自分たちにできることをしようと考え、食品配布という形の支援が自然と広がっていきました。この取り組みは、感染状況が落ち着いてからも途切れることなく続き、現在のフードバンクとしての活動につながっています。



今回のプロジェクトの様子
(フードバンク神戸)

Q：活動にあたって大切にしていることや団体の理念について教えてください。

普段の活動の中で大切にしていること、理念として大事にしていることは、やはり人と人とのつながりです。食品を寄附いただけること自体が本当にありがたいことであり、感謝の気持ちはとても大切にしたいと思っています。それぞれの立場、役割の中で関わってくださっている皆さまに対して、感謝の気持ちを忘れずに、日々活動させていただいています。



弊会でのインタビュー時の様子
(事務局・インターン生)

Q：普段の活動の中で大切にしていることや理念を教えてください。

現在のフードバンク活動では、基本的には拠点まで来ていただく形でお渡ししています。新しい支援希望者については、本当に必要な方に届けるために、状況を的確に把握できるよう、できる限り一度お会いしてお話を伺うようにしています。まずは食の支援を通じて、人と人との繋がりをつくる必要があると思っています。本当に困っている人ほど、声を上げにくかったりすることも多いです。そのため、何度か対話を重ね、傾聴しながらご家庭への食支援が必要なタイミングを判断するようにしています。そうして必要な方に届くよう工夫をしています。

Q：こども応援プロジェクトでは、どのような工夫をされているのでしょうか。

今回のプロジェクトでもお米を300人分準備しています。食品をお渡しする際、私としては、できるだけ子どもたちの顔を見たいと思っています。子どもはすごく正直なので、学校で嫌なことがあったことや、嬉しかったことなど、そういう話もしてくれます。ただ食品をお渡しするだけではなくて、その時の体調のことであったり、最近の様子だったりを一言二言でも聞くことが、とても大事だと思っています。

参加団体様への インタビュー 2

＜順正デリシャスフードキッズクラブ (学校法人 順正学園)＞ ボランティアコーディネーター 長櫓様

Q：団体設立の経緯について教えてください。

2015年12月に、学校法人 順正学園が運営する吉備国際大学（岡山県）で活動を開始しました。設立の目的は、食の支援を必要とする方々、特に子どもたちへの支援です。当時「子どもの貧困」が社会課題として顕在化していたこともあり、支援の中でも、子どもへの支援を目的として活動を始めました。

また、大学内にボランティアセンターが設置され、地域貢献活動の基盤が整っていたことも、食料支援を継続的に展開するうえで大きな土台となっています。

Q：普段の活動について教えてください。

普段の活動は、基本的に月に1回個別配送型で、食品を各家庭に直接お届けしています。岡山県と宮崎県の7市2町にお住まいで、申請のあった15歳以下のお子さんを育てているご家庭に対して、食の支援を行っています。

段ボールへの詰め込み作業や準備は、学生ボランティアの協力を得ながら、進めています。各家庭ごとに「何が必要か」を細かく確認しながら箱詰め作業を行っており、12月は120世帯に食品を届けています。



今回のプロジェクトの様子
(順正デリシャスフードキッズクラブ)

Q：支援を行う際に、どのような点を特に大切にされていますか。

活動の理念としては特にお子さんに寄り添った支援を心がけています。例えば、乳幼児がいるご家庭には、希望があれば必ずミルクやベビーフードを入れ、月齢に合わせて内容を変えています。

また、事前にアンケートを取り、食べられるもの・食べられないものを把握したうえで、内容を調整しています。こうした一つ一つの配慮を重ねながら、できる限り丁寧な支援を行っています。



弊社でのインタビュー時の様子
(事務局・インターン生)

Q：今回のプロジェクトでの活動について教えてください。

今回のプロジェクトでは、通常の活動に加えて、プロジェクト実施報告のチラシを同封したり、普段よりも配送する食品の量を増やしたりといった対応を行っています。

今回は特に12月ということもあり、クリスマスに合わせてお菓子の詰め合わせ袋を同封しています。また、学生ボランティアが毎年クリスマスカードを作成しており、「お菓子袋のプレゼント」という形で食品と一緒に届けてきました。こうした季節感や楽しみを感じてもらえる工夫を大切にしながら、プロジェクトに取り組んでいます。

参加団体様への インタビュー 3

＜NPO法人フードバンクいるま＞ 事務局長 上山様

Q：団体設立の経緯について教えてください。

NPO法人フードバンクいるまは、「地域のために何かしたい」という市民一人一人の想いから誕生しました。私自身、社会福祉士として障害者相談や生活支援の現場に携わる中で、生活に困窮する人々の現実を日常的に目にしてきました。そうした経験の中で「フードバンク」という活動を知り、「この仕組みを地域でも実践できないだろうか」という声が上がったことが、団体設立のきっかけです。

Q：独自の取り組みについて教えてください。

フードバンクいるまでは、「食」だけでなく、子どもたちの経験や思い出も支えたいという想いから、独自の取り組みを行っています。近年特に力を入れているのが、体験型のイベントです。今年の夏には、地元のブルーベリー農園の協力を得て、親子で参加できるブルーベリー狩りを実施しました。収穫したブルーベリーは無料で持ち帰ってもらい、参加した家庭からは「楽しかった」「大切な思い出になった」といった声が寄せられています。その他にも、企業等と連携した料理教室や似顔絵体験など、体験を通じて心に残る支援を広げています。



今回のプロジェクトの様子
(NPO法人フードバンクいるま)

もう一つの特徴的な取り組みが「ミルク基金」です。粉ミルクはフードドライブでは集まりにくい一方、必要とする家庭が多いことから、提供を始めました。現在はフードパントリーでも常時粉ミルクを用意し、こども支援課と連携するなどして必要な家庭へ粉ミルクを届けています。昨年は約150缶の粉ミルクを支援に繋げることができました。

Q：今回のプロジェクトでの具体的な活動について教えてください。

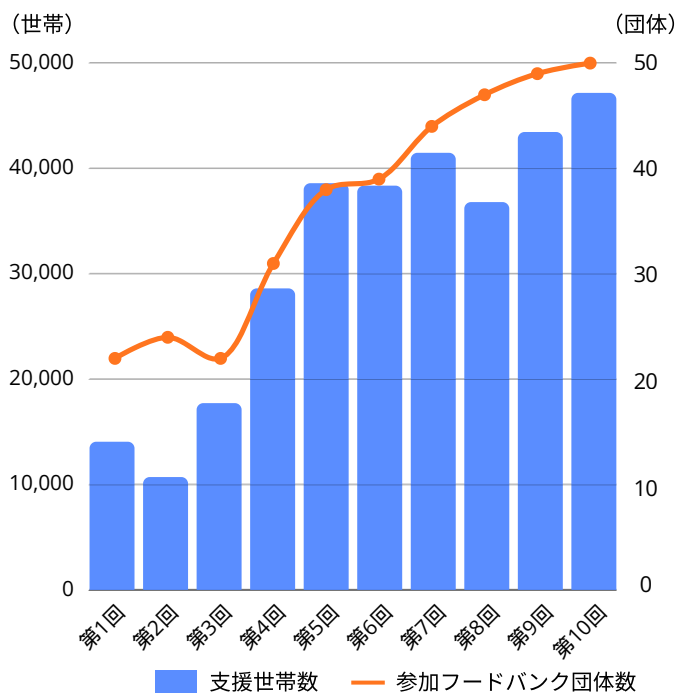
今回のプロジェクトでは、「もらってよかった」「少しでも温かい気持ちになれる」食品支援を意識して取り組んでいます。地元の企業や団体の協力を得ながら、子どもたちにとって特別感のある内容になるよう工夫しています。クリスマス時期に合わせたお菓子の詰め合わせやパン、冷凍ケーキなどの寄付も寄せられ、子どもたちの心に残る支援になるよう、地域の力を合わせて取り組んでいます。



弊会でのインタビュー時の様子（インターン生）

第10回を迎えて

フードバンクこども応援全国プロジェクト 実績数



支援規模の拡大



初回14,011世帯から、第10回では47,120世帯へ。継続的な実施により、支援は大きく広がりました。

参加団体数の増加



加盟フードバンク団体の参加が広がり、回を重ねるごとに連携体制が強化されています。

支援体制の広がり



企業・団体・地域の皆様との協働により、全国規模で支援を届ける体制が構築されています。

これまでの10回の取り組みを通じて、給食のない長期休み期間における支援の必要性が広く認識されるようになりました。全国各地のフードバンクや子ども食堂、企業・団体など多様な主体との連携が進み、必要なご家庭へ食料を届ける仕組みが着実に整ってきています。

こうした積み重ねにより、本プロジェクトは継続的な支援の基盤として定着しつつあります。

これまでの歩みを支えてくださった多くの皆様のご協力に、心より御礼申し上げます。

ご挨拶・御礼の言葉



代表理事 米山廣明

第10回という節目を迎えることができましたのも、多くの企業・団体・個人の皆様のご支援、ご協力のおかげです。本プロジェクトでは、過去最多となる47,120世帯へ食品を届けることができました。物価高騰等により厳しい状況が続く中、子どもたちとご家庭へ「食」と「安心」を届けることができましたことに、心より感謝申し上げます。今後も全国の加盟団体とともに、食料支援を必要とする方々を支え、「明日の食事に困る人のいない社会」の実現に向けて、フードバンク活動を力強く推進してまいります。



ディレクター / 事務局長
小林明日香

本プロジェクトは、第10回の実施をもって一つの節目を迎えました。これまで多くの企業・団体・個人の皆様からご支援を賜り、寄贈品を参加フードバンク団体を通じて支援世帯へ届けることができましたこと、深く感謝申し上げます。今後も、国内フードバンク団体への支援の一層の拡充に向けて取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

全国フードバンク推進協議会の活動概要



フードバンクこども応援全国プロジェクト（広報活動）

給食の無い夏休みや冬休みに、全国キャンペーンを通じて企業からの寄贈を受け付け、各地のフードバンク団体と協働して集中的な食料支援活動を行っています。



食品のマッチング

全国規模での食品寄贈の窓口を担うことで、食品企業が食品を寄贈しやすい仕組みを整えています。



フードバンク団体支援

ヒト・モノ・カネが不足するフードバンク団体にノウハウや資金、食品を提供することで、立ち上げや運営を支援しています。



政策提言・調査研究

フードバンク活動への公的支援制度を整備するため、全関係省庁への政策提言や、情報収集・調査研究事業を行っています。

ご支援のお願い

全国フードバンク推進協議会では、SNSでフードバンクに関連する情報や活動内容を発信しています。

広める



ご寄付

〈銀行振込〉

口座名義：一般社団法人全国フードバンク推進協議会 一般口
銀行名：三井住友銀行 小金井支店
口座番号：(普通) 4038519

〈郵便振込〉

口座名義：全国フードバンク推進協議会
記号：10820 番号：16540841

〈クレジットカード〉

右のQRコードよりお手続きください。



明日の食事に困る人のいない社会をつくる

皆さまからのご支援が、全国のフードバンク活動を支え、
子どもたちや食の不安を抱える世帯へ食品を届ける力となっています。



〒169-0074

東京都新宿区北新宿 1 丁目8-17 土方ビル 7F



03-6912-9444



info@fb-kyougikai.net

HPはこちら

